

## 再稼働反対 明かり遠のく?

無職

(兵庫県 73)

16日投開票の新潟県知事選で現職の泉田裕彦氏が突然立候補を撤回したのが残念だ。真相不明。原発再稼働推進側の影響があったのか。理不尽と感じる。

東日本大震災の時、息子家族3人は福島県郡山市にいた。息子は仕事で残り、当時3歳の孫は嫁と共に兵庫県へ。私たちは、孫を東京電力福島第一原発事故から一歩でも遠くに、との一心だった。息子は今も単身赴任。孫は神戸の小学校に通う。事故原因究明はいまだにできない。東電に「事故の検証と総括」を求め続けた泉田氏は原発

立地県知事として信頼できた。補助金や仕事より命が第一だ。

東電は新潟県の柏崎刈羽原発の再稼働を急ぐばかりで誠実ではなかった。炉心溶融が起きていたことを認めただけは、事故から2カ月以上後。社内マニュアルに炉心溶融の判定基準が明記されていたのに、その存在に気付いたと発表したのは今年。原発事故対応の負担を政府に求めるのもおかしい。

「原発のない社会」を訴える三反園訓氏が7月、鹿児島県知事就任。泉田氏との連携を願った。再稼働反対に明かりが見えたようだったが、考えの甘かった自分に今、腹を立てている。